



## こどもの頃、ほくの事 2



もちろん、どんな大人にも子どもの頃はあったのです。子ども時代にどんなことを考え、何が好きでどんな夢を持っていて、どんな勉強をしたいと考えたのか。そして今はどんなことを考えて頑張っているのか。キッズラボに聞ける色々な「かつて子どもだった」みなさんにお話をしてもらいたいと思います。第3回の今回はキッズラボの副講師 谷口先生の登場です。どんな話が飛び出すかな？

「谷口先生、今日はよろしくをお願いします。」

谷口「こちらこそ今日はよろしくをお願いします。今日は僕の子供時代の話でしたよね。」

「そうですね。じゃあまずは先生の子供時代の夢はなんだったのですか？」

谷口「夢ですかー、子供時代には特にこれといって憧れていた職業はありませんでした。自分はスポーツが好きといえば好きでしたけど、野球選手とかサッカー選手になりたいとは思いませんでした。むしろどちらかというと本を読むなどということが好きだったので、なのでとりあえず医者か科学者にしようかと(笑)」

「とりあえず医者ですか(笑)」

谷口「叔父が医者だったというのもあって、祖母にせつかけられたというのもあるんですけどね。なのでとりあえず医者ってことでいいかなと(笑) 科学者の方は子供の頃から理科が好きだったので、漠然とやらならこれだろうなと思っていました。まだ科学者になるほうがいくぶん現実的でした。新しいものを世に送り出したいなと思ったのもこの頃だったと思います。今まさにそういう勉強をしていますけど、小学校時代からの夢だったと思うと不思議な気持ちになりますね。」

「じゃあ子供時代に何が好きで、どんなことをよくしていらっしゃったんですか？」

谷口「読書と卓球が好きでしたね。後剣道と水泳といちようですがバスケットと野球と書道とそろばんと将棋なんかもしたことがありました。中学に入ってからにはコンピューターにはまってしまって…オセロを始めたのもこのころですね。」

「すいぶん多いですね」

谷口「ええ、一度やり始めたり、負けず嫌いなんで負けたりすると簡単に熱中するのです…おかげでいろんなことをしてました。好きなことしかやってなかった気がしますが、ただある程度やっていたのは熱中しなかった剣道(6年)くらいってのは面白いです。パソコンとオセロと文を読むことっていうのは中毒みたいなものなんで長いこと続いているのも、もう別個ですねえ(笑)ただ、好きなことに熱中した経験っていうのは受験の時に役に立ったように思います。試験中は周りの音が聞こえないほど集中しないと問題が解ききれませんし、勉強の時も自分は量といった面での熱中は幸運にもしませんでした。頭に入れるにはある程度集中が必要なので、集中力があるというのは必要のように思います。そういう面ではゲームとか運動とかオセロとか、時間を決めて止められれば意外とおすすすめですよ(笑)」

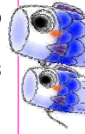
「では先生が影響を受けた事や人ってありますか？」

谷口「そうですね、父方の実家が牛乳配達業をやっているのですが、実家の方針で小学三年から高校二年まで7軒から30軒ほど朝に牛乳配達をしていたんですよ。遅れたら何人も待っている人がいますから、そのなかで身についた責任感とか誠実であることとか後祖母からの教えの”あいさつ”することなんか、すごく人格に影響を受けてますね。小学三年生によくやらせたなとは思いますが、実家だからできたんでしょうねえ。又、従業員の中に夜の2時頃から出てきて、5時頃には仕事を終える人がいてその行動なんかはすごく尊敬してましたね。」

「ありがちなんですが親友と書いてライバルと読む友達には、いろいろ助け合ったという面で影響を受けてますねえ。性格なんかは面白いほど違ったんですがそれでも変に馬があってました。そいつは勉強とか運動とかそれ以外なんかでも自分が持っているものを努力して持っていたので、そういうところに憧れていましたね。ただ、あまりに負け続けるのもしゃくですし、勉強くらいは何とか張り合えたので、ここからは勝つてやろうと思っていましたね。高校は別のところだったのですが、その時で一緒に家で勉強したり、塾で会っていたのでモチベーションが続いたのも大きかったです。そういう面以外でもいろいろと影響を受けています。」

「なるほど！まだまだお話はつづきそうですね。来月には引き続き谷口先生に、勉強方法や今一番興味のある研究分野について語っていただきますよ！お楽しみに！」

## 4月のご報告



4月にもさまざまなイベントが行われ盛況のうちに終了することができました。その様子をご紹介します。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！

### 「化石のクリーニング講座」

みんなの大好きな化石。掘り出した化石をしっかりとった標本にするためにはクリーニングという作業が必要になります。今回は化石に詳しい先生をお招きし、本物の化石を自分の手でクリーニングしていただきました。みんな驚くべき集中力で標本を仕上げていました。これには先生もびっくり！次は化石発掘にもチャレンジしましょうね。



### ワンデイトリップ 「イチゴ狩りと乳搾り体験」

乳搾り体験は初めての子も多く、最初は牛を怖がったり、臭いと嫌がったりする子もいました。いざ搾ってみるとその温かさにびっくり！アイスもみんなで力を合わせて一生懸命作りました。とても冷たくて濃厚な味でした。今回はスイカ、トマト、トウモロコシを植え付けました。前回植えたジャガイモとキャベツも、ずいぶん大きくなっていました。そしてイチゴ狩り。すごく甘くておいしかったですね。今度行ったとき、みんなが植えた苗がどんな風になっているのか、とても楽しみです



### 5月28日29日には「サイエンスキャンプ in 京都大学」そして、6月25日26日には「ウミガメ産卵観察会」

を予定しています。どちらも毎年人気のプログラムになります。京都大学では発生学の久保田先生の特別講義を受けていただけます。またウミガメ産卵観察会では、野生のウミガメの産卵を間近で観察できるチャンス！人間のすぐそばで息づいてきた野生動物について学び考えていただければと思います。詳細は別紙ご案内をご覧ください。か、本部事務局までお問い合わせください。

## 2011年5月

月	火	水	木	金	土	日
						1
						1
2 休	3	4 スマイ	5	6	7	8 月1
						1
9 休	10	11	12	13	14	15 月1
						1
16 休	17	18	19	20	21	22 月1
						1
23 休	24	25	26	27	28	29 月1
						1

## 2011年6月

月	火	水	木	金	土	日
	5/31	1	2	3	4	5
						1
6 休	7	8	9	10	11	12 月1
						1
13 休	14	15	16	17	18	19 月1
						1
20 休	21	22	23	24	25	26 月1
						1
27 休	28	29	30	7/1	7/2	7/3
						1





## 1 なきごえコップ/昆虫①

「鳴き声コップを作ろう！」では、工作を通して音が空気によって伝わることや、濡れた布で糸をこすると、音が大きくなることを学びます。「昆虫の観察①」では、カブトムシの幼虫を観察します。体の部分や食べるもの、生態について学習します。

## 2 ドライアイス/昆虫②

「ドライアイスをつかって」では、夏場によく見かけるドライアイスの性質を実験を通して教えます。「昆虫の観察②」では、ルーペの使い方を学び、昆虫を観察します。観察する時に大切なことはなにか、昆虫の体の部位ひとつひとつに注目させ、観察します。

## 3 花の観察/水の移動

「花の観察」では花びらだけではなく花全体のつくりを観察していきます。花が育つ条件についても考えていきましょう。「水の移動」では、植物がどうやって水を吸い上げていくのかをモデルをつかった実験で確かめていきます。

## キッズラボ I

### 1 音の伝わり方

音が出るものはどうなっているのか調べます。音が出るものは振動しています。糸電話を工作で作成し、実際に使って確かめていきます。間に糸以外のものを挟んでも伝わるか調べていきます。

### 2 音を跳ね返す!?

2 回目の音の学習は音の伝わり方を発展させて、さらにその性質を探ります。音を出すものの近くに板や紙を置くと音が遮られるか、また音の反射する性質について学びます。

### 3 かぶと虫の観察

かぶと虫の幼虫を観察してみましょう。手や足、口はどうなっているのでしょうか。また、横についている穴はなんなのでしょうか。虫めがねを使って、しっかり観察していきましょう。

## キッズラボ II

### 1 魚の解剖①

魚の名前や外見から観察をしていきます。実習を行うために、解剖の手順、臓器の観察のポイント、使用する器具の説明を中心に行っていきます。

### 2 魚の解剖②

魚は体のつくりが分かりやすいフナで行います。実際に解剖を行い、内臓の位置や昆虫や他の生き物と比べてどのように違うのかを観察していきます。

### 3 魚の解剖③

解剖の写真を配り、解剖のまとめをします。観察したものが、昆虫と比べてどう違ったか、(魚・・・うきぶくろ・えら・うろこ・尾びれがある/昆虫・・・頭・胸・腹・足がある) また人間と比べてたどきにつくりや機能が似ているところ、違うところなどの話題にも触れながら、それぞれの臓器の役割についてまとめます。

## キッズラボ V・VI

### 1 音と電磁誘導①

音と電磁誘導第1回目は音について調べていきます。音とは振動ですが、それを地球上で伝えるには空気が重要な役割を果たしています。今回は真空にすることで音がどうなるのかを調べてみます。

### 2 音と電磁誘導②

磁石によって電気が起こることを確かめます。同時に相互誘導の実験も行い、電気と磁石の関係は空間が隔ていても伝わることを学習します。いわゆる電波の入門となる実験です。

### 3 音と電磁誘導③

音の伝わり方、磁石と電気の間を学習したら、ここでは電気で電磁石をつくり、磁石の引きつけ合いによって音を出す仕組みのスピーカーをつくりたい。かなり高度な工作になりますので、頑張ってくださいね。

## キッズラボ II

### 1 ろ過

ろ過という方法で混合物分離を行います。器具を使って、ろ過の方法をマスターします。ろ過ができるものとできないものがあるということを、対比実験を行い調べていきます。

### 2 蒸発

食塩水を用いて、水分がなくなると結晶を取り出すことができることに気づかせます。水分をなくさせるための方法として、「蒸発」があるということを確認します。

### 3 幼虫くらべ

さまざまな幼虫を比べてみましょう。虫眼鏡や解剖顕微鏡の使い方を確認して、特徴を調べていきます。成虫と幼虫との違いについても着目しましょう。

## キッズラボ IV

### 1 カエルの解剖①

人に近い両生類を3回の講義を通じて観察・解剖していきます。1回目は、外見の観察と実習を行うために、解剖の手順、臓器の観察のポイント、使用する器具の説明を中心に行っていきます。

### 2 カエルの解剖②

魚からさらに人に近い両生類(カエル)で行います。実際に解剖を行い、内臓の位置や昆虫や他の生き物と比べてどのように違うのかを観察していきます。

### 3 カエルの解剖③

解剖の写真を配り、解剖のまとめをします。観察したものが、魚や昆虫と比べてどう違ったか。また、人間と比べてたどきにつくりや機能が似ているところ、違うところなどにも触れながら、それぞれの臓器の役割についてひとつずつまとめます。

## キュレーター ラムダ 4,5年



【実験】季節の星座と月の満ち欠け  
【講義】天体

天文の分野はなかなか実感が伴わず苦手になる人も多いところですが、今回は実際に天体モデルを使い天体の動きをみていきます。星の種類から始まり、地球の自転や公転にともなう見かけの星の動きをしっかりと押さえ、季節の星座を始め月の満ち欠けについて学んでいきましょう。



## キュレーター シグマ 5,6年



【実験】右ねじの法則  
【講義】電気【発展】

この講座では、電気と磁界の関係について実験を通じて学習します。この単元のポイントはいくつかありますが、その中の1つとして、「右ねじの法則」があります。これは、講義を通じて学習することも可能ですが、やはり、実際に手を動かして、試すことがこの現象を理解する第一歩だと考えます。実験では、電磁石のほか、モーターについても行い、より一層の知識の定着をはかっていきます。

